

「郷土を愛し、未来を創る人づくり」のための  
自己点検・評価報告書

平成30年3月

御前崎市教育委員会

〈参考〉地方教育行政の組織及び運営に関する法律

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第二十六条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第三項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。))を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

# 目 次

I	はじめに	1
1	趣旨	2
2	点検・評価の対象	2
3	点検・評価の方法	2
4	点検・評価結果の構成	2
II	御前崎市教育委員会の職務・事業内容	3
1	教育委員会の活動	3
	施策1 スクラムプランで推進する教育委員会	4
2	教育委員会が管理・執行する事務	4
3	教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務	5
	施策2 これからの社会を生き抜くための心の根っこ の育成を図る乳幼児教育	5
	施策3 これからの社会を生き抜くための資質・能力 の育成を図る学校教育	5
	施策4 だれでもいつでもどこでも学べる生涯学習 の充実を図る社会教育	6
	施策5 市民とともに考え、ともに高め合う図書館づくり	7
	施策6 子供の心と体を支える魅力ある園・学校給食	7
	施策7 充実した教育環境の整備を図る教育総務	8
III	御前崎市教育委員会の自己点検及び評価	10
	大項目1 教育委員会の活動	10
	大項目2 教育委員会が管理・執行する事務	12
	大項目3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務	13
IV	学識経験者の意見	28
V	総合評価	30

## I はじめに

御前崎市教育委員会では、第2次御前崎市総合計画の基本目標「郷土を愛し 未来を創る 人づくり」に基づき、毎年度発行している「スクラム御前崎」の中で、教育の基本目標と主要施策を明確に示すとともに、施策の実現に努めてまいりました。

平成19年6月に地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号。以下「地方教育行政法」という。）が改正され、この改正の大きな柱の一つである「教育委員会の責任体制の明確化」の方策として、同法第26条により、教育行政の効果的推進及び市民への説明責任を果たすべく、「教育委員会は毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行う」ことが義務付けられたところであります。

このことを受けて御前崎市教育委員会では、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について自己点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成して議会に提出するとともに、市民への公表を行ってまいりました。

本報告書は、平成29年度御前崎市教育委員会の活動及び「スクラム御前崎」で示した主要7項目の実現のための24施策について点検及び評価を行い、その客観性を確保するため、学識経験者4名から所見をいただくとともに、第三者的立場から静岡大学教育学部教授の山崎保寿氏にも外部評価をしていただき、ここに報告書として取りまとめたものであります。

市民の感覚、視点を持って点検・評価を行うことは、今日の課題や今後の取組方針が明確になる点において、大変意義のあるものと思います。

今後も「郷土を愛し 未来を創る 人づくり」を基本目標として、園、学校、地域、行政がスクラムを組み、それぞれの施策を推進してまいる所存です。

平成30年3月

御前崎市教育委員会  
教育長職務執行者 吉村 勝

## 1. 趣 旨

御前崎市教育委員会は、地方教育行政法第26条の規定に基づき、毎年、その権限に属する主要な施策や事務事業の取組状況について、政策効果を把握し、その必要性・効率性等の観点から、自ら点検及び評価を行い、課題や取組の方向性を明らかにすることにより、効果的な教育行政の一層の推進を図るとともに、この点検及び評価の結果に関する報告書を作成し、市議会に提出するとともに一般に公表することにより、市民に対する説明責任を果たし、信頼される教育行政を推進しようとするものです。

## 2. 点検・評価の対象

点検及び評価は、平成29年度における教育委員会の職務内容や主要な施策・事業を対象として実施いたしました。

## 3. 点検・評価の方法

点検及び評価の実施にあたっては、平成29年度の事業について、その進捗状況を総括するとともに、内部評価を行うことにより課題や今後の取組の方向性を明らかにし、その結果を外部評価として、元小学校長 澤入 眞佐義 氏、元幼稚園長 増田 喜巳子 氏、前教育委員 伊藤 博之 氏、元中学校長 杉浦 尚志 氏のご意見や、静岡大学教育学部教授 山崎 保寿 氏に総合評価を頂くことにより、教育に関する学識経験者の知見活用に努めました。

## 4. 点検・評価結果の構成

点検・評価結果については、「御前崎市教育委員会の自己点検・評価シート」で表しました

自己点検・評価シートは、教育委員会の職務、事業内容及び事業体系を大きく3つの大項目に区分した構成となっています。

### ① 大項目1「教育委員会の活動」

教育委員会という組織の自らの行動、すなわち教育委員が自ら行う行為・活動を中心に、点検事項として教育委員会会議の開催回数、運営、広報・公聴、研修会など小項目を設け、点検・評価の対象としました。

なお、「スクラム御前崎」で掲げられた具体的施策のうち、「(1)スクラムプランで推進する教育委員会」については、この大項目内の項目に含むものとして評価を行いました。

### ② 大項目2「教育委員会が管理・執行する事務」

地方教育行政法及び御前崎市教育委員会の権限に属する事務の一部を教育長に委任する規則(平成16年教育委員会規則第5号)の定めるところにより、教育委員会の権限のうち教育長に委任せず教育委員会が合議によって定め実

施する事項となります。これについて、教育委員会が自ら管理・執行する事務として区分し、15の中項目に分けて構成いたしました。

この大項目内の各項目については、各事業実施年度において、教育委員会が計画し実施する性質のものではなく、事象が発生したときに法律等により実施義務が生じるものであります。従って事業実施年度における事象の発生件数とその事象への対応状況の点検を行いました。

### ③ 大項目3「教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務」

教育委員会の職務及び事業から①及び②に掲げた事項を除いた部分について、管理・執行を教育長に委任して行う事務としてまとめることといたしました。この部分については、「スクラム御前崎」に掲げられた具体的施策のうち、(2)から(7)までの6項目について評価を行いました。

## II 御前崎市教育委員会の職務・事業内容

自己点検・評価についての報告書をまとめるに当たっては、まずその対象となる教育委員会の権限に属する事務について、その概要の説明が必要となることから、教育委員会の職務・事業内容及び事業体系について記述し、その後、点検及び評価の対象年度における主要な事業について記述することといたします。

教育委員会の職務・事業内容及び事業体系については、既に「点検・評価結果の構成」において記述したとおり、「教育委員会の活動」、「教育委員会が管理・執行する事務」、「教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務」と大きく3項目に区分して表すことにいたしました。

以下、それぞれの大項目について示します。

### 1. 教育委員会の活動

#### (1) 教育委員会とは

教育委員会は、地方教育行政法の定めるところにより、学校その他教育機関の設置、管理その他の教育事務を執行することを職務権限とする行政委員会であり、教育委員会の代表者である教育長と4人の教育委員をもって組織される合議体の執行機関です。

#### (2) 教育委員会の構成

御前崎市教育委員会の構成は、次のとおりです。

ア 教育長・・・教育長は、御前崎市長の被選挙権を有する者で、人格が高潔で、教育行政に関して識見を有する者のうちから、市長が議会の同意を得て任命します。教育長は常勤で、任期は3年です。教育委員会の意思決定に基づき、教育委員会の権限に属するすべての事務をつかさどり、事務局の事務を統括し、所属の職員を指揮監督します。

イ 委員・・・委員は、御前崎市長の被選挙権を有する者で、人格が高潔で、教育、学術及び文化に関し識見を有するもののうちから、市長が、市議会の同意を得て任命します。任期は4年で非常勤です。

(3) 御前崎市教育委員会委員の名簿

(平成30年3月現在)

役職名	氏名	任期
委員	吉村 勝	平成28年 6月24日～平成32年 6月23日
委員	紅林 幸枝	平成28年 6月24日～平成30年 6月23日
委員	下村 勝	平成28年12月 1日～平成30年 6月23日
委員	竹田 和世	平成29年 3月 1日～平成31年 6月23日
教育長 職務執行者	吉村 勝	平成29年 7月 1日～平成30年 3月31日

**施策1 スクラムプランで推進する教育委員会**

大項目1にて評価

**2. 教育委員会が管理・執行する事務**

教育委員会の職務権限は、地方教育行政法第21条にその職務権限が定められていますが、その職務権限に係るもののうち、以下のものについては、同法第25条第2項により教育長に委任することができず、直接、教育委員会が行うこととされています。

- (1) 学校教育及び社会教育に関する一般方針を定めること。
- (2) 学校、公民館及び図書館の設置及び廃止を決定すること。
- (3) 県費負担教職員の懲戒及び県費負担教職員たる校長の任免その他の進退について内申すること。
- (4) 県費負担教職員のサービスの監督の一般方針を定めること。
- (5) 前2号に定めるもののほか、人事の一般方針を定めること及び懲戒を行うこと。
- (6) 県費負担教職員以外の校長、公民館長及び図書館長の任免を行うこと。
- (7) 教育委員会事務局及び学校その他の教育機関の職員の任免を行うこと。
- (8) 学校、公民館及び図書館の敷地を選定すること。
- (9) 教育委員会規則等の制定又は改廃を行うこと。
- (10) 教育予算その他議会の議決を経るべき議案について意見を申し出ること。
- (11) 社会教育委員、公民館運営審議会委員及び図書館協議会委員を委嘱すること。

- (12) 校長、教員その他の教育関係職員の研修の一般方針を定めること。
- (13) 学齢児童生徒の就学すべき学校の区域を設定し、又はこれを変更すること。
- (14) 教科用図書採択に関すること。
- (15) 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を行うこと。

以上を、教育委員会が自ら行う事務として整理いたしました。

### 3. 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

御前崎の教育『スクラム御前崎』で示している平成29年度の具体的施策のうち、その管理、執行が教育長に委任されている事業は次のとおりです。

#### 施策2 これからの社会を生き抜くための心の根っこの育成を図る乳幼児教育

乳幼児期は、生涯にわたる人間形成の基礎が培われる極めて重要な時期です。そのため、乳幼児期からの安定した生活を基礎に、園での主体的な遊びを通して、人として生きていく力の基礎を育んでいきます。また、園で培った力が滑らかに小・中学校に接続できるようスクラム・スクール・プランを積極的に推進します。

- (1) 『遊び込む子』育成のための環境を整えます

『遊び込む』とは、幼児が身近な環境に関心をもって自ら関わり、遊びを継続し、発展させながら夢中になって遊ぶ姿です。『遊び込む』ことで充実感や満足感を味わい、人と関わる力、思考力、感性、表現力など、人として生きていく力の基礎が培われるよう、教育・保育を充実させます。

- (2) 家庭や地域と一緒に子どもを育成します

家庭との連絡や情報発信を強化し、一緒に子どもを育てていく意識の向上を図ります。また、こども園併設の地域子育て支援センターを通じて、在園時以外の親教育や育児支援を充実させます。

- (3) 早期からの発達支援の充実を推進します

関係機関とスクラムを組み、早期からの発達支援を充実させることにより、保護者の不安解消やよりよい就学支援につなげていきます。また、各種研修会を実施し、職員や支援員の資質向上と効果的な支援を行います。

#### 施策3 これからの社会を生き抜くための資質・能力の育成を図る学校教育

学校教育の中で児童生徒に身につけさせなくてはならないのは、「これからの社会を生き抜いていくための資質・能力」です。『資質・能力』とは、「基礎基本の知識・技能」「思考力・創造力」「主体的に人・社会とのかかわる力」のことです。

学校教育課は、「スクラム・スクール・プラン」を推進し、学校が児童・生徒に『資質・能力』を身につけさせる教育の営みを多角的に支えていきます。

- (1) これからの時代に必要な資質・能力の育成を図ります

『資質・能力』の育成を図るために、園・小学校・中学校・高校の教職員が



スクラム・スクール・プランを通して、子ども観や教育観を共有し「とぎれのない教育」の実現を目指します。

(2) 心と体づくりを推進します

豊かな心と思いやりのある心を育てるため、「スクラムグッドマナー運動」をはじめ地域へ貢献する活動を子どもたちの手で広げていきます。

(3) 個にきめ細やかに対応する教育環境体制づくりを進めます

特別に支援を要する子や不登校に悩む子など、児童生徒一人ひとりに応じた教育を推進するために、「しおかぜ先生」や「スクールソーシャルワーカー」の配置など、きめ細やかな指導や支援の充実を図ります。

(4) スクラムによる園・学校・家庭・地域の教育力向上を図ります

子どものよりよい成長は、園・学校教育はもとより、家庭や地域がそれぞれの役割を理解し、責任を果たすことで図られていきます。そのため本市では、相互の教育力を相乗的に高めるコミュニティ・スクールの御前崎版となる「スクラムスクール運営協議会」を推進していきます。

#### 施策4 だれでもいつでもどこでも学べる生涯学習の充実を図る社会教育

生涯にわたって学びを楽しむ風土を根付かせていくために、地域の特性も活かしながら様々な学びの機会を市民に提供していきます。

社会教育課は、園、学校、家庭及び地域とのスクラムを重視し、次の事業を展開していきます。

(1) 自立心を持った青少年を育成します

青少年健全育成については、生活体験や世代・地域交流を通じて子どもたちの感動と規範意識を養う活動を推進します。そして、地域ぐるみでサポート隊活動などによる防犯活動、声かけやあいさつ運動を展開し、良好な社会環境整備に努めます。

また、保・幼・小・中学校と連携し、地域や行政も一体となってスクラムグッドマナー運動を推進します。

(2) 誰もがいつでも学ぶことのできる生涯学習基盤を充実させます

地域の特色を生かした生涯学習拠点としての公民館活動の充実強化を図り、地域住民が気軽に立ち寄れる公民館として施設整備を進めていきます。

また、子どもから大人まで市民の学習意欲の高揚を図るため、CATV等とスクラムを組んで生涯学習活動に関する情報を発信します。

(3) 地域文化財や芸術文化の継承と推進を図ります

地域の隠れた文化財の発掘及び先人たちが守ってきた史跡名勝天然記念物や有形・無形の歴史的文化遺産などを後世に残す取組みとともに、これらの地域文化財を活用して郷土の誇りを育てる事業を推進します。

また、文化団体との連携を深め、芸術文化活動を支える市民力のより一層の

醸成及び文化施設の適切な維持保全、積極的活用による文化活動の充実に努めます。

(4) 心身ともに健康な市民を目指すスポーツの振興を図ります

生涯を通じて健康な体をつくるために、基礎体力の向上に取り組むことは大切なことです。幼少期から基礎体力の向上を目指し、併せて誰でもスポーツを気軽に継続して取り組める環境をつくり、健康な体づくりを推進します。

## 施策5 市民とともに考え、ともに高め合う図書館づくり

生涯学習の拠点として、子どもから高齢者まで市民一人ひとりが目的にかなった利用ができるよう、市民ニーズに対応したサービスに努め、地域に根ざした市民生活の拠り所となる図書館を目指します。

(1) 市民の力を活かした活動を推進します。

地域の教育・文化の中心的役割を担う施設として、市民と協働し、大人から子どもまで学びたくなる場を提供し、その成果を発表する機会を設けるとともに、多くの市民が参加できる魅力ある文化活動を展開します。また特設コーナーを設け、時事等に関する資料や情報を掲示することにより、利用者の興味を喚起し、読書意欲が高まるよう創意工夫します。

(2) 子どもの読書活動を推進します。

子どもが読書に親しむための読書環境を提供します。また図書館内外のあらゆる機会をとらえ、学校や園等の教育機関とスクラムを組み、市民ボランティア等の協力を得ながら積極的に子どもたちとふれあい、読書の楽しさ・魅力を発信します。

(3) 生涯学習の拠点として快適で魅力あるサービスを提供します。

市民のニーズに対応した資料の収集・提供をするとともに、確実な利用管理、蔵書管理をします。そして生涯学習を支える施設として、市民生活に必要な調査・研究を支援します。

また、施設の経年劣化に対する修繕等を施し、快適な環境を提供できるよう努めます。

## 施策6 子供の心と体を支える魅力ある園・学校給食

(1) 食育と地産地消を推進します

園、学校、保護者等と連携を図り、給食試食会参観と同時に栄養講話「食育について」を、依頼に応じて実施します。また、園、学校等で定期的に食に関する指導「15分指導」を実施します。

また、旬の食材等を取り入れた献立を作成し、地産地消を推進するとともに、園・学校・給食センターで連携を図り、残食の減少を目指します。

(2) 安全安心な給食の提供を実施します

調理場においては、栄養教諭等を衛生管理責任者として定め、施設及び設備の衛生、食品の衛生及び給食調理員の衛生の日常管理等に当たります。

調理過程における下処理、調理、配送等の作業工程を分析し、各工程において清潔かつ迅速に加熱及び冷却調理が適切に行われているかを確認し、その結果を記録します。

調理場調理員・職員、学校側給食従事者について、月2回の保菌検査を実施します。また調理場調理員・職員はノロウイルス検査など、必要に応じた諸検査を実施し衛生管理に努めます。

異物混入等を防ぐため、食材の納入から調理、配缶、配送に至るまで、安全管理を徹底します。

(3) 食物アレルギー対応食を実施します。

食物アレルギー対応食申請者に、保護者、学校、栄養教諭、栄養士との個別面談等により連携を図り、対応食を実施します。

(4) 給食用備品・設備を計画的に整備します。

耐用年数を超え老朽化が著しく故障の多発する備品、設備等については緊急修繕で対応するとともに、調理作業に支障をきたさないよう計画的に機器の更新を実施します。

浜岡・御前崎学校給食センターは建設から30年以上経過し老朽化も進んでいることから、施設の統合に向けて具体的な検討に入ります。

## 施策7 充実した教育環境の整備を図る教育総務

園・学校は、子どもたちが一日の大半を過ごす学習の場であるため、安全安心でこれからの時代に必要な教育環境の整備を図ります。

(1) 安全安心な教育環境の充実を図ります

学校施設の長寿命化に向けて、子どもたちが安全安心に生活できる施設の維持管理に努めます。また、特殊建築物等の調査を行い、是正の必要がある施設・設備は、速やかな改善を図ります。

また、学校施設は、子どもたちの学習・生活の場として教育活動の基盤となるものであり、より機能的な教育環境を整備していく必要がありますので、快適で衛生的な施設環境の向上を図ります。

(2) 教育情報化に必要なICT環境の基盤を整備します

小中学校と教育委員会を結んだ教育ネットワークを活かし、情報教育、教科指導における情報通信技術の活用、校務の情報化を推進していきます。

また、児童・生徒用のタブレットパソコンやデジタル教科書などICT機器の利活用により、ICT教育を促進していくとともに、老朽化した情報機器を適切に更新していきます。

(3) 浜岡中学校の建替えを進めます。

浜岡中学校は建築後 59 年が経過し老朽化が進んでいます。安全で充実した教育環境の整備及び学校基本目標である「光り 輝く 学校」に沿った改築を進めます。

### Ⅲ 御前崎市教育委員会の自己点検及び評価

今回教育委員会の自己点検・評価について報告書をまとめるにあたり、教育委員会が行っている大項目1、2、3について自己点検評価シートにまとめました。

なお、「スクラム御前崎」に掲げる主要施策のうち、(1)は大項目1に含むものとして、(2)から(7)までは大項目3で点検・評価を行いました。

御前崎市教育委員会の 自己点検・評価シート	実現度	3			◎3段階評価とし、以下の達成状況により評価しています。 ○実現度 3・・・達成またはほぼ達成している(概ね80%以上) " 2・・・概ね達成している(概ね40%超～80%未満) " 1・・・達成していない(概ね40%以下) ○重要度も上記に準じて評価しています。
		2			
		1	2	3	
		→ 重要度			

#### 大項目1 教育委員会の活動

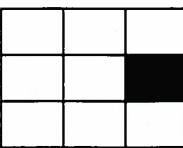
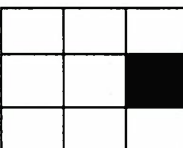
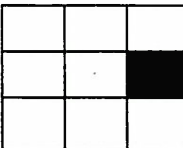
中項目	小項目	点 検 ・ ( 評 価 )												
(1) スクラムプラン で推進する教育委員会	①御前崎の教育の推進をするため、教育委員の研修を深めます。	実現度↑	<table border="1"><tr><td></td><td></td><td>■</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table>			■							→ 重要度	○横浜市立中川西中学校、東山田中学校を訪問。「不登校児童生徒数の削減」「コミュニティ・スクールのあり方」について先進校の取り組みを多く学ぶことができた。次年度の施策にいかしていく。
			■											
	②常に実態・課題把握に努め、御前崎の教育の推進を図ります。	実現度↑	<table border="1"><tr><td></td><td></td><td>■</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table>			■							→ 重要度	○教育委員会の施策について審議するため、定例会を毎月1回計12回開催し、市の教育の充実に向けて活発な議論を行った。
		■												
③園・学校・施設での移動教育委員会を行います。	実現度↑	<table border="1"><tr><td></td><td></td><td>■</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table>			■							→ 重要度	○本市に勤務している小・中学校の教職員と教育委員が語ることを通して、児童生徒の様子や職員の思い・勤務実態を把握し、今後の学校支援の施策について考える場として移動教育委員会を開催した。今年度は1回の開催である。	
		■												
④教職員同士で語り合う会、子供が語り合う会、社会教育委員会、公民館長会など語り合う会を開催します。	実現度↑	<table border="1"><tr><td></td><td></td><td>■</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table>			■							→ 重要度	○社会教育委員会を5回、公民館長会議を6回開催し、情報交換を行った。 ○教職員同士で語り合う会は、移動教育委員会として実施した。 ○教育委員と他の委員会の委員などと話し合う機会を多くすることが課題である。	
		■												
⑤御前崎の教育を広く発信します。	実現度↑	<table border="1"><tr><td></td><td></td><td>■</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table>			■							→ 重要度	○「スクラム御前崎」を関係機関等に配付し、御前崎市の教育について広報した。 ○御前崎市ホームページでの更新回数が少なく情報が古いため、市ホームページのリニューアルに合わせて、更新作業方法等について改善していきたい。 ○地元新聞記者と定例の懇談会を実施し、情報発信に努めた。	
		■												

<p>(1) スクラムプラン で推進する教 育委員会</p>	<p>⑥教育委員会と首 長との意見交換会 の実施</p>	<p>実現度 ↑</p> <table border="1" style="display: inline-table;"> <tr><td> </td><td> </td><td>■</td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table> <p>→ 重要度</p>			■							<p>○「総合教育会議」において、1.「御前崎市の不登校児童生徒の現状と課題について」、2.「学校施設の長寿命化計画について」、3.「社会教育施設のあり方について」市長と意見交換を行い、行政執行部との意思統一を図った。</p>
		■										
	<p>⑦研修会への参加 状況</p>	<p>実現度 ↑</p> <table border="1" style="display: inline-table;"> <tr><td> </td><td> </td><td>■</td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table> <p>→ 重要度</p>			■							<p>○県主催の研修会や研究協議会等に積極的に参加し、「教職員の働き方改革」など文科省の動向や論点整理など教育情報の収集に努め、大変参考になった。</p>
		■										
	<p>⑧ 園・学校訪問</p>	<p>実現度 ↑</p> <table border="1" style="display: inline-table;"> <tr><td> </td><td> </td><td>■</td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table> <p>→ 重要度</p>			■							<p>○小・中学校は年2回、幼・保・こども園は年1回、全校全園を訪問した。園や学校の概要説明を短くし、懇談会の時間を多く持つようにした。保育や授業の参観を通して見えた成果や課題を関係者と話し合った。園や学校のがんばりを認めるとともに、課題に対しては助言し、解決に努めた。 ○入学式、運動会などの園・学校行事にも、全委員が積極的に参加した。</p>
		■										
	<p>⑨ 所管施設の訪問</p>	<p>実現度 ↑</p> <table border="1" style="display: inline-table;"> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td>■</td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table> <p>→ 重要度</p>					■					<p>○市民文化会館、市民プールを訪問、市立図書館にて教育委員会を開催するなどして所管施設の現状、利用状況を確認した。</p>
	■											

## 大項目2 教育委員会が管理・執行する事務

中項目	小項目	件数	点 検
(1)	幼児教育、学校教育及び社会教育に関する一般方針を定めること。	1	○御前崎市教育委員会の主要施策を「スクラム御前崎」としてまとめ、教育委員会に諮り決定した。
(2)	学校、公民館及び図書館の設置及び廃止を決定すること。	0	
(3)	県費負担教職員の懲戒及び校長の任免その他の進退について内申すること。	1	○教職員人事について内申を行った。
(4)	県費負担教職員のサービスの監督の一般方針を定めること。	0	
(5)	前2項目に定めるもののほか、人事の一般方針を定めること及び懲戒を行うこと。	0	
(6)	県費負担教職員以外の校長、公民館長及び図書館長の任免を行うこと。	0	
(7)	教育委員会事務局及び学校その他の教育機関の職員の任免を行うこと。	1	○教育委員会採用職員の採用・退職について決定を行った。
(8)	学校、公民館及び図書館の敷地を選定すること。	0	
(9)	教育委員会規則等の制定又は改廃について審議すること。	4	○御前崎市教育委員会傍聴人規則の一部を改正する教育委員会規則の制定について ○御前崎市教育委員会事務局設置規程の一部を改正する教育委員会告示の制定について ○御前崎市教育委員会の権限に属する事務の一部を教育長に委任する規則の一部を改正する教育委員会規則の制定について ○御前崎市教育委員会公印規則の一部を改正する教育委員会規則の制定について について審議した。
(10)	教育予算その他議会の議決を経るべき議案について意見を申し出ること。	2	○平成29年度2月補正予算案(2月) ○平成30年度当初予算案(2月) について具申した。
(11)	社会教育委員、公民館運営審議会委員及び図書館協議会委員を委嘱すること。	3	○社会教育委員に2名、公民館運営審議会委員に20名、図書館協議会委員に3名を任命・委嘱した。
(12)	校長、教員その他の教育関係職員の研修の一般方針を定めること。	1	○校長会、教頭会、教務主任者会、生徒指導主事・主任会等各研修会の計画について検討し、実施した。
(13)	学齢児童生徒の就学すべき学校の区域を設定し、又はこれを変更すること。	0	
(14)	教科用図書の採択に関すること。	1	○平成30～31年度使用の小学校用「特別の教科道徳」の教科用図書について審議し、採択した。
(15)	教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を行うこと。	1	○平成29年度御前崎市教育委員会の活動及び事務について点検・評価を行った。

大項目3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

中項目	小項目	点 検 ・ 評 価	
<p>(施策2) これからの社会を生き抜くための心の根っこの育成を図る乳幼児教育</p>	<p>①「遊び込む子」育成のための環境を整えます。</p>	<p>実現度 ↑</p>  <p>→ 重要度</p>	<p>(1)自発的な遊びや体験の充実 ○自発的な取り組み、気づきや発見、繰り返し、粘り強い取り組み等「遊び込む子」の具体的な姿に向けて、可塑性・多様性のある材を取り入れたり、持続発展させる環境や援助を工夫して取り組んだ。</p> <p>○子どもが園に通うことを楽しみにしていると感じる保護者の割合は97%である。課題に対する手立て・仕掛けに対する考察、全職員による共通理解を更に深めていきたい。</p>
	<p>実現度 ↑</p>  <p>→ 重要度</p>	<p>(2)教諭・保育士の資質向上 ○奈須教授や永倉教授をはじめとする外部講師から、スクラム研、歳児別研、園内研等の公開保育を通して遊び込むための環境や援助について継続的な指導を受け、研修を重ねてきた。夢中満足度など数値化した研修方法を取り入れる等工夫したことで、子どもの思いの読み取りや材の精選等、考えが深まってきている。</p> <p>○初任者職員の増加により、2,3年次職員の育成にまで手が回らない現状がある。次年度は外部講師を依頼しての2・3年目職員の育成にも力を入れたい。</p> <p>○職員の多忙化も進む中で、資質を高めていくことに困難さがある。書類作成の簡潔化を心掛け、遊び込む子にむけての環境設定時間の確保に充てる等、効率化への工夫が必要である。</p>	
	<p>②家庭や地域と一緒に子どもを育成します。</p>	<p>実現度 ↓</p>  <p>→ 重要度</p>	<p>(1)家庭教育の推進 (3)地域とふれあう活動の推進 ○通園している子どもの保護者の中で、子育てを楽しんでいる方が多く、その割合は94%であるが、ネグレクト、虐待、DVなど家庭で抱えている問題は大きく、家庭教育力の低下が懸念される。家庭教育力を高めるために、家庭だけでなく地域・園学校みんなで取り組むスクラムの更なる啓発や強化が必要で具体的な取り組みを協議している。</p> <p>(2)地域子育て支援センターの充実 ○子育ての悩みを聞いたり、親同士の仲間作りの場になっていて、それぞれの子育て支援センターに対する保護者からの信頼は高まってきている。子育て支援センターを利用することで、スムーズな就園にもつながっている。</p>





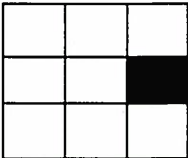

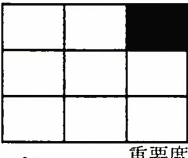
大項目3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

中項目	小項目	点 検 ・ 評 価										
<p>(施策3) これからの社会を生き抜くための資質・能力の育成を図る学校教育</p>	<p>①これからの時代に必要な資質・能力の育成を図ります。</p>	<p>実現度 ↑</p> <table border="1" style="display: inline-table;"> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td>■</td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table> <p>→ 重要度</p>						■				<p>(1)スクラム研究会 ○スクラム研究会を2園、小中各2校ずつ実施した。本年度も中学校の事前研に小学校職員が参加し「主体的に思考を働かせる授業づくり」について協議をしたため、事後研に深まりが見られた。また、「聴く」ことを大切にした指導についても園から高校までの職員で協議できた。さらに新学習指導要領で目指す授業の達成に向けて研究会の充実を図りたい。</p>
				■								
<p>実現度 ↑</p> <table border="1" style="display: inline-table;"> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td>■</td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table> <p>→ 重要度</p>						■				<p>(2)スクラムゼミナール(3)スクラム全体講座 ○指導案づくりから奈須教授の指導をいただき、思い切った授業展開や単元構想を組み、積極的に授業改善に取り組んだ。目指す授業に向けて、さらに改善を図っていく。 ○スクラム全体講座は安倍徹元県教育長を招き、市内教員に励ましの言葉をいただいた。 (4)スクラム分散講座は、小学校外国語科に向けての研修に変更した。各校で研修が進んだ。 (5)英語活動指導員を第一小と北小に派遣し、次年度の授業時数増加に向けての対応を図った。 (6)ICT支援員が配置された第一小学校では、飛躍的にICTを活用した授業が行われるようになった。次年度は各校年間20回程度の訪問指導ができるよう計画している。</p>		
		■										
<p>実現度 ↑</p> <table border="1" style="display: inline-table;"> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td>■</td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table> <p>→ 重要度</p>						■				<p>(7)各種研修会 ○各種研修会を年間計画に位置付け「スクラム教育」の浸透が図られるように実施してきた。池新田高校や御前崎分校の職員も参加し、スクラムの強化が図られた。 (10)防災教育(11)キャリア教育 ○園小中が連携した引き渡し訓練を実施した。エネルギー教育は、浜岡東小学校が総合的な学習の時間で実施をした。次年度は、各小学校が原子力発電所内部の見学をする。キャリア教育については、本年度御前崎中においてCSディレクターの企画による職業講話を実施した。次年度は浜岡中でも実施する。</p>		
		■										
<p>実現度 ↑</p> <table border="1" style="display: inline-table;"> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td>■</td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table> <p>→ 重要度</p>						■				<p>(12)灯台村塾 ○夏期休業中に、小学生を対象に「火おこし体験村」「かかし村」「パティシエ村」「手づくり絵本村」「光るどろだんご村」「ふしぎ発電!!村」の6つの講座を開講した。各村は、各小学校・アスパルを会場にアースコミュニケーション、新野未来塾、食推協、アスパル、科学技術高校、中部電力等の協力を得て開催され、99名の児童が参加した。各講座で日頃、学校では体験できない多様な活動が展開され、事後アンケートでは、9割以上の参加者が「たいへんよかった」「よかった」と感想をもっている。アンケートの中で、他校児童との会話や共同作業を楽しむ声も聞かれ、近隣校児童同士の交流の機会にもなっている。</p>		
		■										

大項目3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

中項目	小項目	点 検 ・ 評 価										
<p>(施策3) これからの社会を生き抜くための資質・能力の育成を図る学校教育</p>	<p>②心と体づくりを推進します。</p>	<p>実現度 ↑</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td>■</td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table> <p>→ 重要度</p>						■				<p>(1)スクラムグッドマナー運動 ○毎月10日に行われるスクラムグッドマナー運動は、各園・学校で工夫された挨拶運動が行われている。保護者・地域・高校の協力も得られ、広がりを見せている。家庭でのあいさつや地域の方へのあいさつが定着していくよう子どもや保護者に呼びかけていく。</p> <p>(2)人間関係プログラム ○東京聖栄大学岡田教授を年度初めに招聘し、各校で児童生徒への関わりについて研修できた。</p> <p>(3)運動器検診 ○各校で四肢検診を活かした指導を行った。</p>
				■								
<p>実現度 ↑</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td>■</td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table> <p>→ 重要度</p>						■				<p>(4)情報モラル学習(ネットパトロール) ○11月現在で浜岡中135件、御前崎中125件が危険な書き込みであるという報告を受けている。学校で内容を確認し、生徒やその保護者へ指導したり連絡をしたりしている。繰り返し指導を受ける生徒もあり、継続した指導が必要である。</p> <p>(5)マリンスポーツ体験の実施 ○マリンスポーツ体験を全校で実施し、自分たちの住む御前崎の海を五感を通して感じ、海の良さを知る機会となった。はじめて体験する児童も多く、マリンスポーツの楽しさを知るきっかけ作りにもなっている。</p>		
		■										
<p>実現度 ↑</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td>■</td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table> <p>→ 重要度</p>						■				<p>(1)「しおかぜ先生」の配置 ○小学校3・4年生の下限が撤廃されたため、完全35人学級実現のため御前崎小に1名、個に応じた教育の推進のため白羽小と浜岡東小に1名ずつ、数学の学力向上対策で浜岡中に1名、市費負担教員を配置した。採用した教員も意欲的に勤務し、県の採用試験に2名合格した。また、しおかぜ先生の指導員として学力向上コンサルタントを1名配置し、しおかぜ先生や若手教員の授業力向上につながっている。</p> <p>(2)「学習支援員等」の配置 ○2名の学校図書館司書が分担して全小中学校を巡回した。図書館担当連絡会を年2回開催し、担当者と司書の連携を強化した。これにより書架の整理が進み、廃棄・選書が適正に行われるようになった。中学校では、定期的に図書館の開放が行われるようになり、図書館を訪れて読書に親しむ生徒が増えた。また、校内の空きスペースに、新刊本の紹介コーナーや季節や学期に適応した図書掲示コーナーが設置され、読書環境が整った。</p> <p>(3)～(7)については計画どおりに実施された。</p>		
		■										

大項目3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

中項目	小項目	点 検 ・ 評 価	
<p>(施策3) これからの社会を生き抜くための資質・能力の育成を図る学校教育</p>	<p>③個にきめ細やかに対応する教育環境体制づくりを進めます。</p>	<p>実現度 ↑</p>  <p>→ 重要度</p>	<p>(8)適応指導教室「サンルーム」 ○「サンルーム」には11名の児童生徒が入級し、指導を受けている。8月に教育会館から移動をしたため、浜岡地区の生徒の通級が増えた。また、本年度より指導員を1名増員したため、よりきめ細やかな指導が行われるようになった。引きこもり傾向の生徒がいるため、中学校と連携を図り、家庭訪問や相談活動の充実を図っていく。</p>
	<p>④スクラムによる園・学校・家庭・地域の教育力向上を図ります。</p>	<p>実現度 ↑</p>  <p>→ 重要度</p> <p>実現度 ↑</p>  <p>→ 重要度</p>	<p>(1)スクラムスクール運営協議会 ○地域と一体となった学校運営を実現させるために、昨年度4回実施した「スクラムスクール運営協議会」(コミュニティスクール)を本年度は年6回開催した。協議会会長を両中学校のPTA会長が務め、活発な話し合いがなされた。スクラムカレンダーが全小学校区で発行され、地域とのつながりを深めることにつながった。あいさつ運動も各園・校で工夫され定着しつつある。家庭の教育力向上を目指した具体的な取組を協議中である。</p> <p>(2)学校支援地域本部 ○学校支援地域本部の活動の充実を目指し「学校支援ボランティア交流集会」をさくらこども園で行った。ボランティア本来の意味を再確認し、自身の活動の仕方を見直したり、それぞれの活動の価値を自覚したりすることができた。</p> <p>(3)シニアスクール ○白羽小・浜岡中学校で54名のシニアが参加した。シニアの満足度は非常に高かった。児童との交流がさらに進み、白羽小の児童にとって何か価値のある事業になった。</p>

※スクラム・スクール・プラン(SSP)：保育園、幼稚園、こども園、小学校、中学校、高校を「1つの学校」ととらえることを基本として、園、学校、地域、行政がスクラム(相互理解、観の共有)を組んで、「とぎれない教育」の実現を目指す。

※SSP推進委員会：主幹教諭、教務主任、副園長で構成され、スクラム・スクール・プランの推進、各事業運営のサポートを行う。

※スクラムスクール運営協議会：学校運営協議会の御前崎版として、保護者や地域の人へのスクラム・スクール・プランについての理解の促進及び地域を巻き込んだ教育の実現に向け話し合う組織。中学校区単位で、学識経験者、地域代表者、園長、学校長で構成される。

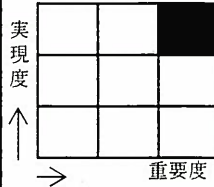
※スクラムグッドマナー：豊かな心と思いやりのある心を育てることを目的に、「あいさつで つくろうスクラム 地域と共に」を合言葉として、市民のグッドマナーづくりを子どもたちが率先して進めていく。

※シニアスクール：55歳以上の市民を対象に、学校において年間10講座程度の授業を行う。児童生徒との交流もあり、開かれた学校を目指す。

大項目3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

(施策4)  
だれでもいつでもどこでも学べる生涯学習の充実を図る社会教育

①自立心を持った青少年を育成します。



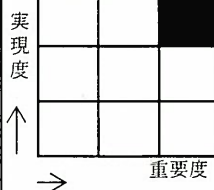
(1) 家庭の教育力支援のスクラム

○家庭教育学級の推進

今年度、13学級が各園・各学校において保護者への学習の場や相談の場の提供を行うとともに、体験活動や家庭教育への支援などの活動を行うことができた。活動が毎年同じものの繰り返しにならないような展開の必要がある。

○家庭教育支援員の設置

支援事業のさらなる展開（支援センター等での相談業務）を図るため、支援員の拡充（4名から6名へ）を行った。相談業務等の活動について、今後は既存の関連団体との連携を考えていきたい。



(2) 青少年健全育成のスクラム

○サポート隊による見守り活動

地域で子どもたちを守り育てる運動の一環として、1,154人のサポート隊員により登下校時の見守りと声かけを地域全体で行なった。不審者は年間3件であったため、活動の効果は高いと考える。

○こども110番の家

通学沿いの家（主に店舗）に依頼し、476家の登録をいただき、どの地域でも協力的に受け入れられている。子どもが駆け込んだという事例は現在ない。

○青少年補導員の活動

夏・冬期の青少年補導、土曜パトロールを実施しているが、補導の事例はない。また、成人式やみなと夏祭りでの補導を行っている。

○声かけ運動の推進

県が実施している「地域の青少年声掛け運動」に協調し、参加者を募っている。本年度までの登録者は、4,586人で、年間を通して運動を行っている。組織的な運動ではなく、個人的な活動のため、運動を盛り上げる取り組みが必要である。

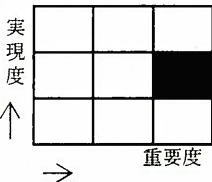
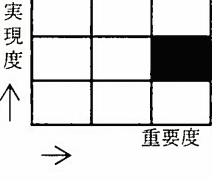
○青少年健全育成の推進

青少年健全育成の推進について、地域、学校、行政がスクラムを組み、各地区で青少年健全育成懇談会を開催した。しかし、出席者が役員だけという場合が多く、市民への広がりが課題である。

また、「青少年の未来をつむぐ集い」を実施し、わたしの主張作文、絵本コンクール発表、ガールスカウト第76団設立40周年記念発表、英語話し方能力研究大会参加者スピーチ発表など子どもたちが頑張っている姿を市民に披露した。市民が一体となって青少年健全育成についての機運を醸成できた。

成人式では、今後の御前崎市を担っていく意識を持ってもらうために、市出身者等で活躍している人から新成人に向けての応援メッセージを上映するなど、工夫した取り組みができた。

大項目3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

<p>(施策4) だれでもいつでもどこでも学べる生涯学習の充実を図る社会教育</p>	<p>①自立心を持った青少年を育成します。</p>		<p>(3)体験型学習機会のスクラム ○小・中連携体験事業『御前崎クエスト』の実施 小・中連携体験事業『御前崎クエスト』は、体験活動の場を御前崎市内とし、宿泊体験や炊事体験等様々な自然体験学習を行った。13名の小学生と中学生リーダー3名、高校生リーダー1名の参加があり、異年齢の交流、適応力などを養う良い経験となった。今回より御前崎中学校の牧之原市在住の生徒についても参加を認めることとなり、より広域的なつながりを持つことができるようになった。今後、研修内容を検討し、さらに参加者が増えるよう充実を図りたい。</p> <p>○親子工作教室の開催 親子工作教室は、37名の小学生の参加があった。今年度で34回目を迎えた歴史ある教室であり、木のぬくもりを親子で体験できる貴重な場となっている。 また、市内木材業者の振興や周知にもつながる活動でもある。</p>
	<p>②誰もがいつでも学ぶことのできる生涯学習基盤を充実させます。</p>		<p>(4)グッドマナー運動のスクラム ○「あいさつでつくろうスクラム 地域と共に」との連携 スクラムグッドマナー運動の一環として、意識高揚と啓発のためにスクラムグッドマナーTシャツを作成し、市内の協力者に着用していただいた。今後は、更なる推進普及のため新たな展開を検討中である。</p> <p>(5)生涯学習基盤・拠点のスクラム ○安心・安全な公民館等の維持管理 一部の公民館では老朽化が進み、修繕が必要な箇所が増加しているが、予算の範囲内で対応している状況である。今後劣化診断の実施や修繕計画を策定して誰もが安心して利用できる公民館となるよう計画的な修繕・工事の実施に努めていく。</p> <p>○公民館活動の支援 公民館活動については、公民館に対して各地区の特色を生かした各種講座やコミュニティ事業を展開できるよう公民館活動支援補助金を交付し、誰もが参加できる学習の場を提供している。各公民館とも工夫した活動を行っており、効果は高いと考える。 反面、本来の公民館活動以外の業務が多く、館長、事務職員の負担増加が課題となっている。市や社会福祉協議会からの依頼業務調査を実施したことで、これまで見えてこなかった業務量の把握ができたため、今後公民館の負担減に繋げていくよう努めていく。</p>

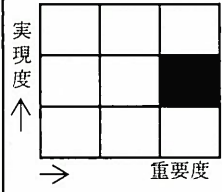
大項目3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

(施策4)  
だれでもいつでもどこでも学べる生涯学習の充実を図る社会教育

②誰もがいつでも学ぶことのできる生涯学習基盤を充実させます。

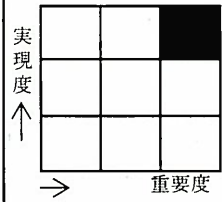
○社会教育学級の推進  
今年度27学級が登録し、各学級が年間を通じて様々な活動を行っている。各学級の活動には、5万円を限度に活動補助を行っており、様々な活動に使用できるため、利用価値の高いものになっていると考える。さらに、活動が充実するよう、情報提供などの支援も充実させたい。

○公民館のあり方の検討  
昨年度、公民館あり方検討委員会を立ち上げ、多様化する社会状況の変化の中で増大する公民館活動に対応し得る施設への移行を目指して検討を行った。現在、委員会が作成した報告書を踏まえながら、御前崎市にあった公民館のあり方について、庁内で調整を図りながら検討を行っている。



(2)生涯学習情報発信のスクラム  
ケーブルテレビや公民館だよりを中心に公民館活動について広報を行っている。市民の公民館活動や生涯学習への参加意欲の高揚を図るため、今後も積極的に情報発信を行っていく。  
ケーブルテレビ加入者が減る中、広報方法の検討が必要となっている。

③地域文化財や芸術文化の継承と推進を図ります。



(1)地域文化財継承のスクラム  
○文化財保護審議会  
本年度は、新たな指定等の申請が無かったことから、会議を開催していない。なお、友好都市である長野県高森町の文化財調査委員会の委員が御前崎市の新野の左馬武神社や舟ヶ谷の城山、新野左馬助公展示館のPRや活用方法などについての視察研修に訪れたことから、会長と副会長が対応した。その後、御前崎市の文化財保護審議会委員が大河ドラマ「おんな城主 直虎」にゆかりのある長野県高森町の松岡城跡や松源寺等の視察研修を実施し、友好都市である高森町との交流や委員の資質と知識の向上を図った。

○文化財年報  
文化財年報（平成28年度版）を発刊し、文化財保護事業の記録保存等を図った。

○文化財等の整理・保存事業  
文化財整理室では、南谷遺跡や星の糞遺跡などの市内から出土した遺物の注記を注記機械を借用して実施するとともに、星の糞遺跡出土の石器等の再整理を実施した。図書館地域行政資料室では、旧町史等で収集した史料や古写真等の整理作業を実施した。

大項目3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務		
<p>(施策4) だれでもいつでもどこでも学べる生涯学習の充実を図る社会教育</p>	<p>③地域文化財や芸術文化の継承と推進を図ります。</p>	<p>○埋蔵文化財出張授業・出土資料貸出 小学校等からの開催希望が無かったことから、今年度は開催されなかった。来年度は各小学校等にもっと情報提供するとともに授業の内容を魅力あるものにする事で多くの学校等で開催できるようにする必要がある。</p> <p>○小中学校への地域資料などの情報提供・貸出し 御前崎小学校5年生を対象とした水稻体験などを実施している水神公園どんどの会に脱穀や粃すりなどの民具を貸出し、稲からお米ができるまでの行程を昔の民具を使って体験してもらった。</p> <p>○大産業祭における文化財の展示・体験事業 市大産業祭において、埋蔵文化財の普及啓発のため、昔の火起こしと勾玉づくりの体験学習を実施した。</p> <p>○市指定史跡「薩田ヶ谷横穴群」散策路整備事業 市指定史跡「薩田ヶ谷横穴群」への散策路の整備や案内・注意看板等の設置を地元の宮内会との協働で実施した。</p> <p>○指定文化財紹介チラシ作製 静岡県指定名勝「桜ヶ池」や池宮神社所蔵の市指定文化財「徳川慶喜揮毫の池宮神社扁額」等の市指定文化財を紹介するチラシを作成した。</p> <p>○文化財保護強調週間における指定文化財バスめぐりの開催 文化財保護強調週間の時期に開催できなかったが、市民を対象にした市指定有形文化財に指定されている神社巡り等を実施した。</p> <p>○ウミガメ保護活動 昭和47年より開始したウミガメ保護監視活動を地道に行うことにより、本年度は4,208頭の子ガメのふ化があり、多くの子ガメを海に帰すことができた。一方、監視員が新たに1名増えたことで8名となり、後継者の育成については一定の成果が出た。また、産卵観察会と放流観察会を実施し、市内外から多くの参加者が訪れ、ウミガメの保護活動を通じて自然環境保護への関心を高めることができた。今後もウミガメが御前崎市で産卵ができるよう、保護活動の充実と砂浜の環境保全に努めていく。</p>

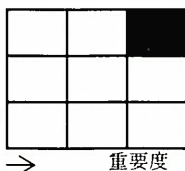


大項目3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

(施策4)  
だれでもいつでもどこでも学べる生涯学習の充実を図る社会教育

③地域文化財や芸術文化の継承と推進を図ります。

実現度 ↑



(2)文化・芸術にふれる機会のスクラム

○市文化祭

文化協会と連携し、小・中学校音楽発表会を皮切りに、さまざまな文化活動を披露する文化祭を開催した。合計3,000名近くの来場者があり多くの市民が文化活動に接する機会を提供できた。しかし、芸能発表の来場者数が昨年度に引き続き少なく集客は大きな課題である。

○伝統文化子ども教室

丸尾記念館で、七夕・お月見のお茶会や、伝統文化親子教室が開催され、幅広い年代の市民へ芸術文化活動の場を提供することができた。

○県巡回劇場の実施

市内小学校5, 6年生を対象に、エレクトーンとサクソフォンの演奏会を行った。よく知っている曲の演奏で音楽芸術を身近なものと感じることができ、芸術への興味を高めることができた。

○クリスマスコンサート

例年、クリスマスコンサートを行っており、今年度もクリスマスコンサートを開催した。本事業は、27回目の開催となり、市民に定着した事業となっており、音楽の普及・振興に寄与している。

○映画上映事業

優れた映画の鑑賞の機会を提供するため、振興公社と連携して、映画事業を行った。今年度は浜松市出身の木下恵介監督の作品から、地元御前崎がロケ地の名作「喜びも悲しみも幾年月」をはじめ、戦後日本映画の代名詞とも言える珠玉の4作品を上映した。

○文芸おまえざき編集委員会

市民77人から122作品の応募があり、投稿数は昨年度よりも増加している。市民の文芸に対する関心は確実に高くなっている。

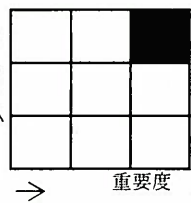
○文化協会とのスクラム

文化協会へ運営補助金を交付し、その補助金により事務員を雇い事業を進めた。補助金の有効な使用により、積極的・自主的な運営ができており、文化の振興に寄与していると考えられる。

○賞賜金制度の活用

文化の振興並びに地域の発展に寄与した優秀な6団体、18人に対し、芸術文化振興賞賜金を交付した。

大項目3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

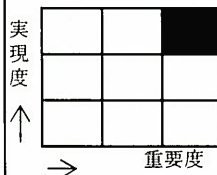
<p>(施策4) だれでもいつでもどこでも学べる生涯学習の充実を図る社会教育</p>	<p>③地域文化財や芸術文化の継承と推進を図ります。</p>		<p>○光山房制作の直虎とゆかりの武将版画展の開催 新野左馬助公展示館で10点の版画を2回に分けて展示し、展示館の来館者の増加に寄与した。3回目に市立図書館で21点の版画を展示し、1,040名の見学者があった。また、最終日には、版画の作者である光山房代表の熊谷光男氏によるギャラリートークを2回開催し、合計37名の参加者があった。</p> <p>○戦国武将ミニチュア兜展の開催 故・鈴木東洋氏が昭和40年代に収集した、「鈴木家所蔵ミニチュア日本兜コレクション展」を平成29年8月8日から常設展示として開催し、展示館の来館者の増加に寄与した。</p> <p>○新野左馬助公の里 市民歴史講座の開催 新野左馬助公の里である御前崎市新野地区や、直虎ゆかりの里である「長野県高森町」の歴史や文化財について学習する、市民50名を対象とした歴史講座を5回講座で開催した。国土館大学講師や静岡古城研究会会長を招聘して、井伊家や新野左馬助公の講義を3回実施した。また、御前崎市振興公社職員をノルディックウォーキングの指導員として派遣してもらい、静岡古城研究会会長による説明のもと、ノルディックウォーキングで新野左馬助公の里巡りを開催した。最後の第5回講座として、長野県高森町の松源寺や松岡城跡などのゆかりの地をめぐる見学バスツアーを開催し、好評を得た。</p> <p>○歴史講演会の開催 戦国時代研究の第一人者である、小和田哲男静岡大学名誉教授による歴史講演会を開催した。</p>
	<p>④心身ともに健康な市民を目指すスポーツを推進します。</p>		<p>(1)スポーツ振興のスクラム ○スポーツ推進審議会 必要に応じて開催します。</p> <p>○スポーツ推進委員 スポーツ推進委員の指導により、軽スポーツ教室を開催した。人気のあるソフトバレー教室やデカスポテニス教室を取り入れ、参加者も定員に近い人数が集まった。また人気のあるソフトバレー大会は多くのチームが参加するが、綱引き大会は、参加チームが年々減少傾向にあるため、体育協会との連携を検討すると共に内容の見直しを行い、参加チームを増加させたい。</p> <p>これらの活動により、スポーツに親しむ機会が増え、市民の健康増進・交流の場提供に大きく寄与していると考えます。</p>

大項目3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

(施策4)  
だれでもいつでもどこでも学べる生涯学習の充実を図る社会教育

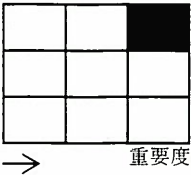
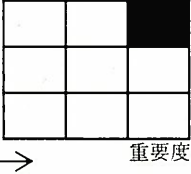

④心身ともに健康な市民を目指すスポーツを推進します。

- エンジョイスports御前崎  
市民の体力測定会と飯塚翔太選手によるランニング教室を実施し約200人が参加した。体力測定は毎年継続して行うことの重要性を伝え、リピーターの確保と新たな参加者を募り、今後も継続していきたい。
- 静岡県市町対抗駅伝参加  
本年度から新監督を迎え新たな体制でスタートした。順位、タイムとも大きな躍進とはいかなかったが、数年後に上位入賞という目標に向かって中期的な戦略をたてることができた。
- 友好都市スポーツ交流事業  
友好都市である長野県高森町の、高森中学校との野球交流として、例年、島岡杯野球大会に参加している。本年度は御前崎中学校が参加し、準優勝の成績を収めた。
- 体育施設整備・改修  
市民プールや総合運動場が建設後20年を経過し、大規模な改修が必要になっている。補助金の確保と併せ、計画的に改修を行っていく。
- 関係機関とのスクラム  
各種スポーツ大会や教室について、関係機関と連携して事業を実施することができた。
- 賞賜金制度の活用  
東海大会や全国大会に出場した選手に賞賜金を交付した。また本年度は陸上世界選手権に出場した飯塚翔太選手にも交付した。



- (2) マリンスポーツ振興のスクラム
- 小学生海洋体験活動事業の受け入れ  
御前崎マリンスポーツクラブに委託し、市内全小学校を対象とした教室(6教室)を開催することができた。また、サンルームも活動を実施できた。これらの事業により、海洋スポーツ普及が進み、底辺拡大ができた。
  - マリンスポーツフェスタの開催  
市内外からの来場者が、昨年度よりも100人近く増え500人以上が参加して盛り上がりを見せた。併せて御前崎市におけるマリンスポーツ活動のPRができた。

大項目3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

中項目	小項目	点 検 ・ 評 価	
<p>(施策5) 市民とともに考 え、ともに高め 合う図書館づく り</p>	<p>①市民の力を活 かした活動を推 進します。</p>		<p>○本年度も第3回手作り絵本コンクールを開催することができた。市外、県外からの応募も増え、市内外にアスパルの存在をPRすることができた。また、応募作品の展示にも多くの方が見に来て下さり、当コンクールが市民の中に少しずつ認知されてきているのを感じた。</p> <p>○市民に親しまれるよう、楽しく参画できる文化事業として、「絵本づくり講座」をはじめ、当市の誇る「アカウミガメの写真展と講演会」、また市民の協力を得て開催した「夏のこわ〜いお話しと夜の図書館探検」など多くの催しを開催し、それぞれに好評を得た。2階ギャラリー等の施設は市民交流の場として様々な作品が発表され、多くの方々が観覧のため来館した。また、1階特設コーナーにおいては、工夫を凝らしたテーマ展示等を実施し、利用の促進を図った。</p>
	<p>②子どもの読書 活動を推進しま す。</p>		<p>○子どもが読書に親しむよう、園や学校と連携し、巡回貸出や読み聞かせ、授業支援のための資料の貸出などを行った。また、未就園児への働きかけとして、親や子どもと関わる機会のある方に「読書や読み聞かせの大切さ」等の啓発活動に努めた。</p> <p>○昨年に続き、読み聞かせボランティアの交流研修会を開催した。各自で活動している方々の日頃の不安や疑問を分かち合う場として、また活動をするにあたってスキルアップのための研修を受ける機会として好評だった。これからも読み聞かせボランティアの育成とネットワークづくりを進めていくことが必要である。</p>
	<p>③生涯学習の 拠点として快適 で魅力あるサー ビスを提供しま す。</p>		<p>○市民のニーズに応えられるよう選書を心がけ蔵書の充実を図るとともに、相互貸借等活用しリクエストに可能な限り応えるよう努めた。</p> <p>○利用者の利用環境の変化に対応するため、DVD資料を積極的に増やした。選書も幅広い分野からの選定に心がけ、視聴覚資料の充実にも努めた。</p> <p>○外壁の改修工事をはじめ、経年の劣化に対応した修繕等の措置を施し、快適な学習空間の提供に努めた。</p>

大項目3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

中項目	小項目	点 検 ・ 評 価										
<p>(施策6) 子供の心と体を支える魅力ある園・学校給食</p>	<p>①食育と地産地消を推進します。</p>	<p>実現度 ↑</p> <table border="1" data-bbox="638 224 821 369"> <tr> <td></td> <td></td> <td style="background-color: black;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>→ 重要度</p>										<p>○今年度は、2つの幼稚園と4つの小学校から依頼を受け園児、1年生、3年生、4年生の児童と保護者を対象に栄養講話を行った。栄養教諭や栄養士が試食会後保護者会にも参加し、食育の推進をすることができた。さらに、全小学校6年生のテーブルマナー指導、4年生の生活習慣病予防講座、学校保健委員会での講話、総合学習での講話等、様々な依頼を受け、指導の場があった。</p> <p>また、4つの小学校の1年生から4年生の学級活動に講師として参加したり、各小学校の全クラスで給食前15分指導を実施したり、給食中の様子を見に行ったりすることを通して、残食が減る、好き嫌いを減らすなど、子どもたちに食育の意識が高まることが確認できた。</p> <p>また、地産地消を推進し、県内産品目の使用割合が61%で、その内の25%が地元産を活用した。</p> <p>このように、園・学校・給食センターの連携により近年残食が減少傾向にあるが、小中学校に比べ、園においてはまだ残食が目立つ。また学校間の格差もある。全体の残食率は3.6%で、前年とほぼ同様であった。</p>
	<p>②安全安心な給食の提供を実施します。</p>	<p>実現度 ↑</p> <table border="1" data-bbox="638 1120 821 1265"> <tr> <td></td> <td></td> <td style="background-color: black;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>→ 重要度</p>										<p>○安心安全な給食の提供を確実にするため、毎日衛生管理者である栄養士、栄養教諭が委託業者の代表者と連絡を取り合い、施設や食品、調理員の衛生の管理に対する指導を行った。</p> <p>さらに、毎日、栄養士が委託業者の代表者に調理及び配送等の作業動線図や作業工程表を示し、確認しあい、適切な調理が行われているか調理後も指示した作業の変更点の確認も行った。</p> <p>今年度から、アレルギー食については、事故防止を防ぐためチェック体制を強化した。センター長、園長、校長の検食とともに、当日のアレルギー食の確認、記録簿への記入をお願いした。さらに、栄養士から調理員へのチェック、調理後の栄養士へのチェック、配送のチェック、園や学校の受け取りのチェック、担任のチェックの6段階のチェック体制を強化し、事故防止に努めた。</p> <p>調理員、職員、園や学校等の給食従事者について、月2回の保菌検査を実施。また調理員・職員はノロウイルス検査など、必要に応じた諸検査を実施し衛生管理に努めた。</p> <p>異物混入を防ぐため、食材の納入から調理、配缶、配送に至るまで、安全管理の徹底を行っており、調理員及び物資納入業者の意識も向上した。しかしながら、牛乳の配送・保管過程で保管温度が適切でなかったため、牛乳を取りやめた日があり、今後は適切な管理が必要である。</p>

大項目3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

中項目	小項目	点 検 ・ 評 価	
<p>(施策7) 充実した教育環境の整備を図る 教育総務</p>	<p>①安全安心な教育環境の充実を図ります。</p>		<p>○特定建築物・建築設備定期検査の結果をもとに、定期的な修繕、長寿命化改修工事の見直しを順次計画している。</p> <p>○当初予算で計画した第一小、浜岡東小、浜岡北小のトイレ洋式化工事を行い、3小学校とも洋式化率は約70%に向上した。来年度残りの2校の工事を行う予定である。</p> <p>○第一小学校体育館の屋根防水・外壁塗装工事を行い教育環境の改善に努めたうえ、定期的な点検を行い維持管理に努めた。</p>
	<p>②教育情報化に必要となるICT環境の基盤を整備します。</p>		<p>○平成26年度から4年間かけて教育ICT化環境整備を実施し、学校における情報機器の安定的かつ計画的な整備に取り組んでいる。</p> <p>○御前崎小学校、白羽小学校のパソコン教室用PC36台を更新した。また、市内各小学校にそれぞれ児童用IPad40台を配備し、ICT環境の整備推進に努めた。</p> <p>○今年度も、第一小学校にICT支援員を1名配置し、授業でのパソコン利用率が向上した。来年度、全校で円滑な運用ができるようにするため、支援員が全校を回り、パソコンの有効な活用を推進していく。</p>
	<p>③浜岡中学校の建替えを進めます。</p>		<p>○59年以上経過している鉄筋コンクリート造りの校舎は老朽化が進んでいるため、平成27年度に耐力度調査を再度実施し、耐力度不足で危険な建物との判定結果になった。</p> <p>本年度、改築検討委員会を開催し、基本設計業務を完了したが、建設費が多額になったため基本設計の見直しと、事業費縮減が可能な事業方式の検討を進めていく。</p>

## IV 学識経験者の意見

### 1. 大項目1 教育委員会の活動

評価の公表にあたり、実現度を評価2にしているものが多い。未達成の理由を明確にして欲しい。すべてを書ききることは難しいとは思いますが、分かり易い工夫が必要です。

### 2. 大項目2 評価対象としない

### 3. 大項目3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

#### (1) 生きていく力の基礎の育成を図る乳幼児教育

初任者研修で幼稚園、こども園に伺っていますが、幼稚園や保育園の研修を更に強化して欲しいと思います。幼児教育に識見のある大学教授が保育や、遊び込む根幹について指導され、各園を回って研究保育、公開保育を指導しています。課題はあるものの、職員達の気持ちも以前と違って、子どもの遊びの中身を見ようとする気持ちが育ってきていることを感じます。

#### (2) これからの社会を生き抜くための資質・能力の育成を図る学校教育

市として学力ということをどう捉えているかに係ってくると思います。学力向上に対して、当然学校である以上は最重要視点ではないかと思います。

学校評価の視点としては、学力の問題と、主体的に思考を働かせる場面の設定をどれだけ実現できたか、あるいはそれによって子どもたちがどのように変化したのかを評価するべきだと思います。研修の事業的な手続きは書かれていても、それがどのくらい進んだのか、浸透したのか、子どもたちが伸びたのか、数値で表れない部分もあり難しいが、評価方法について検討して欲しい。

#### (3) だれでもいつでもどこでも学べる生涯学習の充実を図る社会教育

社会教育というのはどこまでやったら実現度が上のランクにつけられるのか、そういうことを考えると本当に難しいことだと思います。市として生涯学習とか、市民の中で眠っているものを呼び起こすような事業を展開していく必要があると思います。

#### (4) 市民と共に考え共に歩む市立図書館

評価のとおり、他市に誇れる図書館が経営されていると思います。ぜひ継続してさらに高みを目指すような、やりがいのある仕事をしてほしいと思います。予算と人材の関係で難しいとは思いますが、来館者に対してすごく充実していますが、もう少し隅々まで対応できるような視野があってもいいと思います。

#### (5) 子供の心と体を支える魅力ある園・学校給食

アレルギー原因も多様化しており、アレルギー対応も大変です。子どもが小さいと残食が目立つと思いますが、食べ方の指導も必要だと思います。保護者にもそういう指導を行ったり、給食センター便り等で色々な食の献立を紹介していただくなど、栄養士が対応していることを評価します。

(6) 充実した教育環境の整備を図る教育総務

将来的な方針に関わってくるパソコン教室は難しいところがあると思いますが、iPad というようなタブレット型を増やしたことは評価します。



## 御前崎市教育委員会の自己点検及び評価 <総合評価>

### 1 大項目ごとの評価

#### 「大項目1 教育委員会の活動」について

御前崎市教育委員会の教育施策は、スクラムプランとして7つの施策に体系化されており、教育委員会の活動を推進するうえでの基盤となっている。全国的に、教育委員会の施策方針の明確化が求められる中で、御前崎市の教育施策がスクラムプランという名称のもと体系化されていることは最大の特徴である。

中項目(1)の①②⑥⑦⑧は、昨年度と同様に重要度も実現度も高く成果を上げている。特に、①⑦の教育委員の研修に関しては、例年意欲的な取組がなされ、教育委員の資質の向上に寄与している。また、平成27年度から発足した⑥の総合教育会議については、市長と教育長の連携を強化する役割を担うとともに、今後におけるスクラムプランの総合的推進と迅速な課題解決につながることを期待される。

一方、③の移動教育委員会、⑤の広報活動、⑨の所管施設の訪問については、市民と教育委員会を直接つなぐ側面があり、教育委員会の活動の広報と発信に結びつくだけに、今後も一層の工夫が必要とされる。

#### 「大項目2 教育委員会が管理・執行する事務」について

教育委員会が管理・執行する事務については、御前崎市の全教育施策が「スクラム御前崎」として体系化されており、総体的に順調で円滑な管理・執行が行われている。今後も、御前崎市教育のさらなる発展につなげていくために、教育施策の柱となるスクラムプランの推進とその実現状況に関する自己点検・評価を踏まえ、一層効果的な管理・執行に努力することが重要である。

#### 「大項目3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務」について

施策2の乳幼児教育については、「子どもが園に通うことを楽しみにしている」保護者の割合が97%に達しており、御前崎市全体としての教育施策の効果があらわれている。乳幼児教育の推進を支える教諭・保育士の資質能力については、各種研修の工夫によって力量の向上が図られている。特に、スクラムグッドマナー運動、地域子育て支援センターの活動、巡回相談など、御前崎市独自の取組が効果を上げている。近年、全国的に少子化が進行する中で、人口維持・増加の施策として乳幼児教育に重点を置く市町が増加している。その一方で、ネグレクト、虐待、DVなど乳幼児を抱える家庭の問題も、依然として皆無ではないことから、家庭の教育力を高める指導を継続して行っていく必要がある。御前崎市においても、人口維持・増加の施策と関連させつつ、幼保小連携および地域連携を基盤に、今後も「遊び込む子」の育成を目指した施策を展開して頂きたい。

施策3の学校教育については、スクラム研究会を中心とする各研修会の実施、ICT支援員・「しおかぜ」先生・学習支援員の配置、灯台村塾の開催、マリンスポーツ体験、スクラムカレンダー配布など、多様な施策が実施されている。灯台村塾は、9割以上の参加者に好評であり、マリンスポーツ体験、シニアスクールなどとともに御前崎市ならではの施

策となっている。特に、シニアスクールの開催は、高齢者の生涯学習と児童生徒の異世代交流の機会として、他市に見られない特徴になっている。今後も、自己点検・評価の結果を踏まえ、御前崎市の特色を生かした創意工夫のある取り組みを推進していくことが求められる。

施策4の生涯学習の充実を図る社会教育については、家庭教育学級の推進と家庭教育支援員の配置、青少年健全育成の活動、グッドマナー運動、地域文化財の継承、文化・芸術活動の推進、スポーツ振興の諸施策等に関する実現度が高く成果を上げている。特に、地域文化財の継承として、新野左間助公の里活動、長野県高森町との交流、ウミガメ保護活動、文芸おまえぎきの刊行など、地域の文化・自然を生かした活動が展開されている。今後も、御前崎市の自然・文化・伝統などを生かした多様な取組を充実させていくことが期待される。

施策5の図書館活動については、図書館主催の文化活動を中心に、市民に親しまれる図書館を目指した施策が総合的に推進されている。手作り絵本コンクール、「絵本づくり講座」、読み聞かせボランティア交流研修会、DVD資料の増加等、市民ニーズを踏まえた取組が積極的に行われている。今後も、先進的で市民に身近な図書館を目指した活動を推進して頂きたい。

施策6の園・学校給食については、栄養講座など食育の活動と地産地消の推進、安全安心な給食の提供が、重要度も実現度も高く成果を上げている。特に、安全安心な給食やアレルギー食への配慮に関しては、6段階でチェックする体制が行き届いており、安全管理に関する関係職員の意識の高さがうかがわれる。

施策7の充実した教育環境の整備を図る教育総務については、予算状況の厳しい中、必要な点検整備と計画的な改善が図られている。昨年度の自己点検・評価で重要性を指摘したICT環境の一層の整備に関しては、白羽小学校のパソコン教室の充実をはじめ、市内各小学校へのIpad配備などが行われ、ICT環境が向上している。また、学校は災害時の避難場所・避難所となることから、防災・減災の観点から、今後も施設設備の一層の充実と改善が望まれる。

## 2 全体についての総合的評価

御前崎市教育委員会の活動全体として、御前崎市の自然・文化・伝統を生かした教育施策が、スクラムプランを柱にして体系化・明確化されている。スクラムプランのように、一つの理念を中核にして、各種の教育施策が体系化されていることは他市の教育委員会には見られない特色といえる。ただし、自己点検・評価の実現度の低い項目については、原因を明らかにするとともに改善を図る必要がある。

最後に、今後に向けた留意点として、次の事項が挙げられる。

①教育委員会の活動に関する広報、家庭・地域との一層の連携、社会教育および図書館活動の推進などについて、今後もスクラムプランの教育施策と連動させて推進することにより、御前崎市として全体かつ総合的に成果が上がるよう図ることが重要である。

②地域文化財の保護や文化活動の継承については、その重要性和価値に鑑み、今後も一層の充実と工夫改善が必要である。御前崎市の豊かな自然・文化・伝統などが、学校教育に関する教材や教育活動として、今後も有意義に活用されることが望まれる。

③灯台村塾、スクラムカレンダー、マリンスポーツ体験、ウミガメ保護活動のような御前崎市の特色ある取組が、市民や地域の自主的な活動として、学校と地域の連携を強めるために活かされるよう配慮することが重要である。

④御前崎市の地理的環境から、特に防災・復興教育については、現状でも相当な努力がなされているものの、今後も対策を強化していくことが必要である。